

【22_079/思考系メルマガ】夢は願ったら叶うのか？

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

今日は、ちょっとチャートから離れてぼんやりと考え事をしてました。

今回のメルマガでは、そんな考え事の中身を思いついたまま書いてみたいと思います。

□
└─┘ 夢は願ったって叶わない
└──────────────────┘

いきなり我ながら過激なサブタイトルをぶち込んでしまいましたが

このメルマガを書きながら、ついさっきツイートしたのが以下のリンクです。

▼ツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1505440073256693763?s=20&t=cRu8PRP1sazQYTnM6JSeWg>

日々のTwitterのタイムラインを見ていて、僕が感じていた「ぼんやりした違和感」の言語化でもあるのですが

「想いを現実に」「想い続ければ願いは叶う(だから頑張ろう)」などなど。。

昔、一時期スピリチュアルな発信が流行ったころに出てきたワードで言えば

「引き寄せの法則」ってものにも言い換えられるでしょうか。

反感を買うのを覚悟の上で言えば、想いを強く持って頑張ったところで

取り組む筋道が間違っていれば 願いは叶いません。

特に、【トレードで稼ぐ】という点においては、なおさらです。

僕自身、これまでたくさんの「FXを学ぶことを志す人」と接して

思いつく限りの考えを伝えながら、自身の研鑽をしてきて今に至ります。

ときには、考え方の全く異なる人と直接会ってお互いの考えを伝え合ったりしたこともたくさんあります。

そんな人たちと話をしてみると

「私は、トレードで専門になるんです」

「トレードで月収100万円を目指して頑張っています」

と、いろんな表現で 夢 を語る人がたくさんいました。

異なるトレードスタイルで情報発信している人と話をすることも、今でも多いです。

ですが、実際にその後、そこから確かな結果を出して、今でも接点を持ち続けている人というのは

残念ながらごくわずかです。

これは、日々FXや投機と呼ばれる世界で接する情報としては、ほとんど語られることがないけど

実際起っている“現実”です。

僕が怖いな、と思うのは「強すぎる願い(もはや願望と言い換えても良いかもしれない)」と現実との落差に打ちのめされることです。

悪意の有無に関係なく、SNSで発信される投機に関する情報の多くは

僕は「夢を売っているな」と感じています。

投機における都合の良い面だけを華々しく演出して「願って取り組めば必ず叶う」と語るが

その後すぐに直面するであろう「現実的な厳しさ」には全く言及しない。

したとしても、本質を外した精神論や一貫性のないアプローチを提示され、それで取り組んだ人は更にドツボにはまる

実際、そんな経験をした人から、怨嗟に近いメールを貰ったことも数知れません。

願って叶うなら、皆トレードで金持ちになっているはずなんですよね。

逆に、そうやって「願う想い・夢」ばかりが先行するから、現実との落差を突きつけられた時の絶望が大きくなる。

□
■ 夢は『目指す指針と方向性』、そのための方法論は『リアリズム』で考える

だからといって、僕は『夢』を持つこと自体が悪いとは思いません。

なぜなら、『夢』は自分が進むべき道・たどり着くべき場所を見失わないために必要な『行動指針』だと考えるからです。

ただ、ここで勘違いしないよう気を付けないといけないのは

その『夢』を追いかける際に取りべき手段、歩く筋道が『現実に即しているか』を

常に点検する習慣を持つことです。

トレードにあてはめて考えるなら

確かな『型』が確立されてもいない段階で、いきなり実弾でのトレードをやるとか

資金管理のルールが曖昧な中で「破産するかもわからないロット」で取引をして一攫千金を狙う

ここまで極端な例は、今となってはもう少なくなっていると思いますが

少なくとも現状取り組んでいる内容が、自分の『夢』を実現する前に

取り返しのつかない「失敗」を誘発する危険は無いかな？

地味でも、着実に目標にたどり着ける『一貫した方法論』で取り組めているのか？

それを確認しあえる環境で学習しているか？

また、自身がその心構えを忘れていないか？

常に『計画性』を持って行動することを忘れずにいられれば

そんなに酷いことにはならないだろう、と思います。

少なくとも、僕が日々発信している内容というのは

多くの華々しい話とは距離を取っているので、「地道」「地味」「泥臭い努力」のようなものが

前面に押し出されている説教臭い内容ばかりですが

これは僕自身がいろんな失敗や経験を経て、大事だなと思ったことを思い返しなが

それを言葉にしています。

だから、あんまり響いてくれなくてもいい。共感されなくても構わない。

僕の何かの考え方に触れて、それが誰かの『良い変化』に繋がれば嬉しいと思っています。